

令和3年度

事業計画書

公益財団法人福島県保健衛生協会

令和 3 年度 事業計画書

令和 3 年度の事業推進に当たっての基本的な考え方は、新型コロナウイルス感染症という予測困難な厳しい環境がしばらくは継続するとの前提のもと、全職員が一丸となって令和元年度の事業規模の回復を最大の目標とする。

そのために、まずは令和 2 年度に事業を中断した自治体や企業に対して新型コロナウイルス感染症対策について丁寧に説明しながら各種健(検)診事業の復活を働きかけることに注力する。

一方で、少子高齢化や情報化という社会情勢の中長期的なトレンドをしっかりと受け止めながら、健(検)診・検査事業等の質の向上を通じた顧客の安定確保に努めなければならない。

以上のスタンスを堅持しながら、以下の取組を進めてまいりたい。

I. 事業構造におけるリスク分散と受診環境整備による重点選別主義の徹底

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが想定される中、高齢化や少子化に伴う人口減少、さらには受診者の心理的要因等により影響され易い地域健診に依存しているという当協会の事業構造を踏まえれば、将来的にシフトすべき方向性を明確に捉え、事業構造の抜本的な変革に果敢にチャレンジしなければならない状況にある。

そのために、現在の主力事業である地域健診について、受診者数の増加対策として、新規受診者の獲得や未受診者への勧奨、受診環境整備によるリピート率の向上、地域特性に合った新規検査の推進等を積極的に進めるほか、職域及び施設健診では、企業などの健康保険組合が協会けんぽへ移行する動きが加速していることを踏まえ、これまで以上に渉外活動を推進する等、高品質な各種健康増進事業に取り組むことで、競合健診機関との差別化を図りながら、重点選別主義を徹底し、以下の事業に取り組む。

II. 重点分野の事業推進の考え方

1. 健(検)診・検査事業

健康診査及び各種がん検診の受診者数向上に向けて、福島県国民健康保険団体連合会及び(株)キャンサーズキャン社と連携し、効果的な未受診者対策を推進することで、市町村の各種健(検)診受診率向上と受診者数増加に努める。

また、受診環境の改善に向けて電話による健診予約受付を受託する体制を整備し、継続受診者増加と定着を促す。

新型コロナウイルス感染症への対応では、混雑を作らない受診環境を整えるとともに、実施計画の適正化と感染防止対策の徹底を図りながら健診事業を推進する。

- (1) 36 市町村の健(検)診未受診者及び不定期受診者について、過去の受診履歴等を基に対象者を抽出し、受診者が自発的により良い選択をするようにナッジ理論に基づく 5 分程度の通知勧奨を実施するなど受診勧奨の強化
- (2) 電話による健診予約体制を確立し、受診者数を正確に予測することで混雑を作らない受診環境を整え、新規受診者の増加と継続受診者(リピーター)の定着を目指す
- (3) 感染症対策を含む健診の事前準備から実施、結果通知に至るまで一連の業務を受託す

ることにより、不特定多数の受診者への高品質なサービスの提供を目指す

- (4) 県民と地域が一体となり精密検査受診率の向上を目指した、コール・リコール勧奨体制の整備
- (5) 特定保健指導を受けやすい環境整備に向けて、ICT を活用した遠隔型面談の導入と推進
- (6) 一次予防として有効な胃がんリスク検査(ABCリスク検査)及び肝硬変に進展する恐れのある肝線維化を早期発見するための肝がんリスク検査(FIB-4index)の推進
- (7) 慢性腎臓病(CKD)の発症や進行予防を目的とした「尿中微量アルブミン検査」及び「推定食塩摂取量測定検査」導入の働きかけ
- (8) 職域健診における眼底検査の両眼撮影及びヘモグロビン A1c 導入の働きかけ

2. 総合健診センターにおける事業

年度の前半は、国の新型コロナ感染症対策に協力するため、総合健診センターにおいて福島市民へのワクチン接種事業を計画的に実施する。併せて、福島市の市民巡回健診再開の見通しが立たない状況を踏まえ、市政だより等への広告掲載を始めとした効果的なPRを行うことで施設検診として受け入れ日数を拡充し、受診者数の増に努める。

- (1) 市民検診の受け入れ日数の拡大及び効果的な広報活動による受診者数の増加
- (2) 風疹抗体検査の推奨及びインフルエンザワクチン予防接種事業の展開
- (3) 福島市新型コロナウイルスワクチン接種事業における基本型接種施設として、集団接種事業の推進と効率的な会場運営並びに市内医療機関へのワクチン配送に伴う小分け作業等の管理業務

※ 現時点で不確定要素が多く福島市との正式契約に至っていないことから当初予算には計上していない。

3. 理化学分析事業

水や食品検査、放射能測定等の環境調査、労働衛生管理の中の作業環境測定等について、顧客ニーズを的確に把握し積極的な事業展開に努める。

- (1) 厚生労働省「水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類の見直し」及び環境省「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の見直し」の通達を受け、追加検査項目となった有機フッ素化合物ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)検査の積極的な推進
- (2) 令和3年度4月からの作業環境測定法施行規則の改正に伴い、個人サンプリング法による溶接ヒューム測定の積極的な推進

4. 建物等の継続管理事業

「建物の維持管理に関する検討委員会」における検討結果や事業環境の変化等を踏まえ、県内各拠点(本部および地区センター)機能の統廃合や長寿命化対策等に関する計画を策定する。

Ⅲ. 基本的分野の事業推進の考え方

1. 健(検)診・検査事業

福島県民が全てのライフステージにおいて健康で活力あふれる生活を送れるよう、疾病の発見及び予防、健康の保持・増進事業を展開する。

- (1) 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査、特定保健指導を始めとする充実した保健・栄養・運動指導の推進
- (2) 胃がん、子宮がん、肺がん、乳がん、大腸がん、骨粗鬆症、歯周病等の検診、尿中微量アルブミン測定及び推定食塩摂取量、風しん抗体等の各種検査の推進
*特に、4月から乳がん検診車両が1台増車となることを踏まえた積極的な事業展開
- (3) 労働安全衛生法に基づく定期健康診断、特殊健康診断、雇入れ時健康診断の実施
- (4) 全国健康保険協会(協会けんぽ)生活習慣病予防健診の推進
- (5) 学校保健安全法に基づく尿検査、心電図検査をはじめ、貧血検査、小児生活習慣病予防健診等の学童検診の推進
- (6) 新生児の先天性代謝異常症等の検査の推進(原発性免疫不全症やライソゾーム病等の新規対象疾患の導入)
- (7) 福島県、公立大学法人福島県立医科大学との連携による、被災13市町村等の県民健康調査「健康診査」の推進

2. 総合健診センターの事業運営

人間ドック、全国健康保険協会(協会けんぽ)生活習慣病予防健診、福島市市民検診、事業所健診、雇入れ時健康診断、各種県民健康調査、外来診療(内科、婦人科)、上部消化管精密検査(胃内視鏡検査)、子宮がん精密検査、乳がん精密検査、予防接種等を実施する。

- (1) 県、公立学校、市町村、事業所及び個人を対象とした人間ドックの推進
- (2) 全国健康保険協会(協会けんぽ)生活習慣病予防健診や定期健康診断および雇入れ健診等事業所健診の推進
- (3) 福島市をはじめとする近隣市町村住民を対象とした地域検診(特定健診、各種がん検診等)の受入れ推進
- (4) 外来診療及び上部消化管精密検査、子宮がん精密検査、乳がん精密検査等の二次健診の推進
- (5) インフルエンザワクチン及びB型肝炎ワクチン等予防接種の実施

3. 理化学分析事業

水質汚濁及び大気汚染防止のため各種調査分析、水道法に基づく水質検査、食品衛生検査、作業環境測定等を行う。

- (1) 水道事業体への水質検査計画の策定等の支援及び定期、臨時の水道水質検査の推進
- (2) 食品製造者等のニーズに応じた、細菌検査、添加物検査、栄養成分検査、保存試験検査の推進

- (3) 各自治体等の河川調査及びそれらに関連した排水、飲料水、放射能検査等の推進。
- (4) 事業所等の作業環境測定事業の推進
- (5) 自然災害発生時の飲料水供給、有害物質漏洩等への対応に向けた迅速な検査体制の推進

4. 普及啓発事業

公衆衛生に関する知識の普及啓発、相談及び調査研究等を行う。

- (1) 健康に関する各種講演会、研修会を開催するほか、市町村や企業、学校等が実施する講演会、研修会等への講師の派遣
- (2) 結核や肺がん、COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患の普及啓発、全国の結核予防団体の事業支援などのための複十字シール運動への協力
- (3) 福島県健康を守る婦人連盟の事務局として、連盟が行う健康に関する普及啓発活動への協力
- (4) 福島県、市町村、医師会、歯科医師会等、関係諸機関が行う公衆衛生活動や啓発イベントへの協力
- (5) 予防医学事業中央会、結核予防会、日本対がん協会、それぞれの福島県支部として、各団体が行う各種活動への協力

5. がん基金事業

がん基金の運用益等を活用し、福島県民へのがんに対する正しい知識やがん予防思想の普及啓発を行うとともに、がん検診従事者の育成やがんに関する調査・研究への支援を行う。

IV. 主要な目標値

検診・検査 目標

単位: 人/件

項目	年度	令和3年度 (目標)	令和2年度 (実績見込)	令和元年度 (実績)	摘要
1. 結核検診					
(1) 学校保健		22,707	22,404	23,782	新規受託2校あり
(2) 地域検診		74,917	59,136	80,717	3市2村で検診再開
(3) 労働衛生					
ア 間接撮影					
イ 直接撮影・デジタル (協会けんぽ含む)		27,618	27,569	19,484	
(4) 精密検査		0	0	1	
2. 胃がん検診					
(1) 地域検診		30,499	23,719	36,958	3市2村で検診再開
(2) 労働衛生 (協会けんぽ含む)		29,219	29,234	24,519	

3. 子宮がん検診				
(1) 子宮がん車検診				
ア 地域検診	16,248	13,669	16,308	
イ 労働衛生	3,480	3,475	3,383	
(2) 子宮がん施設検診				
ア 地域検診	41,045	41,045	44,794	
イ 労働衛生	1,709	1,709	1,395	
(3) 子宮体がん施設検診	66	66	92	
(4) 子宮がん施設精密検診				
ア 組織診検査	500	500	567	
イ 細胞診検査	1,606	1,606	1,774	
4. 肺がん検診				
(1) 地域検診				
ア 肺がん検診(喀痰)	5,566	4,901	5,566	
イ 肺がん検診(肺野部) (協会けんぽ除く)	75,600	59,136	109,862	3市2村で検診再開
(2) 労働衛生				
ア 肺がん検診(喀痰)	1,607	1,607	1,560	実施時期が例年に戻る
イ 肺がん検診(肺野部)	50,921	53,692	47,489	
5. 乳がん検診				
(1) 地域検診(いわき市除く)	17,287	16,425	17,613	受診者数回復の見込み
(2) 労働衛生	3,016	3,016	3,076	
6. 大腸がん検診				
(1) 地域検診	77,387	68,966	78,587	3市2村で検診再開
(2) 労働衛生(協会けんぽ含む)	37,600	37,829	31,235	
7. 特定健康診査				
(1) 特定健康診査	68,335	54,262	76,651	3市2村で健診再開
(2) 特定保健指導	2,110	2,162	1,614	南相馬市分実施なし
8. 骨粗鬆症検診				
(1) 地域検診	10,548	9,672	12,056	3市2村で検診再開
(2) 労働衛生	762	672	700	隔年実施の町村の影響
9. 臨床検査 (件数)				
(1) 学校保健				
ア 寄生虫検査	1,911	1,939	2,488	児童生徒数減少
イ 尿検査	126,597	128,970	130,590	児童生徒数減少
ウ 心電図検査	66,313	67,259	69,338	児童生徒数減少
エ 血液検査	26,056	24,916	29,764	新規受託あり
オ その他の検査	18,375	17,804	18,446	新規受託あり

(2) 地域検診				
ア 血液検査	173,681	137,506	183,708	3市2村で健診再開
イ 健康診査	30,086	24,203	31,821	3市2村で健診再開
ウ 県民健康調査 (健康診査)1~3月巡回分	3,500	3,500	2,359	
エ その他の検査	123,747	105,530	134,465	3市2村で健診再開
(3) 労働衛生				
ア 心電図検査	66,033	68,757	63,074	実施時期が例年に戻る
イ 眼底検査	38,450	37,973	37,322	実施時期が例年に戻る
ウ 尿検査	15,100	16,588	17,708	実施時期が例年に戻る
エ 血液検査	223,879	232,842	213,770	実施時期が例年に戻る
オ 健康診断	67,621	67,728	74,149	
カ 血圧測定	12,533	14,039	11,713	実施時期が例年に戻る
キ 聴力検査	58,374	59,825	54,906	実施時期が例年に戻る
ク その他の検査	165,356	175,140	131,352	
(4) 特殊健康診断				
ア 有機溶剤健康診断	6,693	6,979	7,025	検診日程の正常化
イ 鉛健康診断	391	361	441	新規受託あり
ウ じん肺健康診断	393	416	440	実施時期が例年に戻る
エ 騒音健康診断	595	395	792	新規事業所約200人の増加
オ VDT健康診断	3,791	3,818	3,916	
カ その他の検査	6,101	6,118	6,362	
(5) 保菌検査	15,779	14,916	16,645	検体依頼数回復の見込み
(6) 医療機関からの受託検査				
ア 一般臨床検査	780	491	1,031	企業の超過勤務者数の増加
イ 病理組織検査	1,646	1,484	2,131	医療機関の手術の増加
ウ 細胞診検査	24,950	24,910	25,556	
(7) 母子保健				
ア 先天性代謝異常検査	12,229	13,134	14,112	少子化の加速
10. 口腔健康診査				
(1) 地域検診	595	495	695	
(2) 労働衛生	10	0	11	
11. 健康づくり事業				
(1) 健康づくり事業	49	64	73	個別説明会開催の減少
(2) 総合健康管理受託事業	21,002	13,794	21,470	健診予約コールセンター 新規事業、日程の正常化

12. 総合健診センター					
(1) 健康診断		15,709	6,452	5,901	市民検診等受診者の増
(2) 二次精検		1,103	910	576	婦人科・胃精検受診の 勸奨
(3) 人間ドック		3,500	3,210	3,477	協会けんぽ制度利用の 推進
(4) 予防接種等		2,902	2,001	2,354	B型肝炎・インフルエン ザワクチン対象者の増
13. 理化学分析事業					
(1) 水質検査		8,351	8,259	9,080	事業所排水検査の増
(2) 大気測定		447	451	542	臭気測定減少傾向
(3) 食品検査		8,204	8,176	8,517	依頼数の回復
(4) 環境衛生	簡易専用水道施 設検査	1,415	1,415	1,497	
	その他の検査 (井戸水検査等)	4,433	4,533	3,741	
(5) 環境調査(放射能測定等)		3,767	3,431	3,766	学校給食依頼数回復
(6) 作業環境測定		240	238	202	事業所等への勸奨強化